

令和2年度及び令和3年度甘味資源作物生産性向上緊急対策事業のうち
かんしょ生産性向上緊急支援事業のうち
かんしょ重要病害虫対策事業

事業実施計画書

事業実施年度：○年度

事業実施主体名：○○生産組合

市町村・地区名：○○市○○地区

第1 事業の目的

--

第2 実施地区における現状

かんしょ作付面積： ha	サツマイモ基腐病発生ほ場面積： ha	うち収量3割以上減ほ場面積： ha
うち青果用： ha	うち青果用： ha	うち青果用： ha
うち焼酎用： ha	うち焼酎用： ha	うち焼酎用： ha
うちでん粉原料用： ha	うちでん粉原料用： ha	うちでん粉原料用： ha

第3 事業計画総括表

都道府県名及び市町村名	事業実施主体名及び地区名	目標	目標数値			対象作物名	用途	受益		事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等) 及び事業量 (単価、回数、基数、台数、面積等)	事業費	負担区分			完了予定日	備考
			現状	目標	増減率			戸数	面積			国庫補助金	事業実施主体	その他		
			(○年度)	(○年度)				戸	ha		円	円	円	円		
合計																

- (注) 1 「目標」の欄については、公募要領第4の1に掲げる目標を記入すること。
 2 「目標数値」の欄については、目標に対応した具体的な目標数値を記入すること。なお、現状値については、原則、直近のデータとする。
 3 「事業内容」の欄については、公募要領第2の2に定める事業内容を記入すること。
 4 「備考」の欄については、事業区分ごとに、仕入れに係る消費税等相当額について、これを減額した場合には、「除税額〇円 うち国費〇円」と、同税額がない場合には「該当なし」と、同税額が明らかでない場合には「含税額」とそれぞれ記入するとともに、「含税額」と記入した場合であって、同税額を減額したときは、備考の欄に合計額（「除税額〇円 うち国費〇円」）を記入すること。

第4 事業の成果目標

1 事業実施地区における被害状況と対策

病害虫被害の種類	被害状況と対策
サツマイモ基腐病	

(注) 「被害状況と対策」の欄には、事業実施地区における現在の被害状況等を踏まえ、どのような対策を行うのか、具体的に記述すること。

2 具体的な成果目標

目標	(重要病害虫が発生したほ場の10 a 当たり収量の10%増加 等)		
具体的な数値	現状値 (○年度) : ○ t /10a又は%	目標値 (○年度) : ○ t /10a又は%	増減率 : ○%増加又は減少
目標数値決定根拠			
具体的な取組	(取組例) ○被害が著しいほ場を対象とした取組のうち次期作への対策 ・ 土壌消毒剤の購入費 (○ha) ・ 土壌消毒に使用する被覆資材の購入費 (○ha)		
事業評価の検証方法 (実績値の算出方法)	○年産の実績により検証。		

(注) 1 「具体的な取組」の欄については、目標に対応した具体的な値、取組内容、予定規模を記入すること。

2 「事業評価の検証方法」の欄については、具体的な検証方法を記入すること。

第5 事業実施主体

1 事業実施主体の概要

名称 (設立年月日)	所在地	構成員	
		氏名	所属・職名
〇〇生産組合 (〇年〇月〇日)		〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	J A 〇〇事業本部 本部長 〇〇でん粉工場 代表

2 協力機関

区分	組織名	担当業務
地方公共団体	〇〇県	
民間団体	〇〇組合	

(注) 事業実施主体の構成員に含まれている組織は除くこと。

第6 事業全体の実施スケジュール

事業の実施時期	取組の内容
(年度) 月 月 月 月	

(注) 「取組の内容」の欄には具体的取組を記述し、必要に応じて補足資料を添付すること。また、上記内容が分かる資料の添付に替えてもよいこととする。

第7 事業内容及び事業費等

(単位：千円)

事業項目		事業費	積算根拠 (単価×数量等)		備考
			うち国費		
対象地域全体 を対象とした 取組	次期作へ の対応	ほ場の残渣処理			
		ウイルスフリー苗及び健全な種いもの利用			
		苗及び苗床の消毒			
		種いも及び苗の罹病検査			
		早期栽培の推進			
		防除用機械の導入			
		薬剤の散布			
		堆肥の散布			
被害が著しい ほ場を対象と した取組	次期作へ の対応	土壌消毒			
		被覆資材の導入			
		他作物への転換			
		輪作の実証			
合 計					

(注) 1 事業に取り組まない事業項目については、表から削除すること。
2 備考欄には想定している被害規模等を記載すること。

第8 導入機械の規模決定根拠等 (防除用機械の導入、輪作の実証の取組)

1 規模決定の根拠

機械の種類	受益面積 (ha) ①	導入機械の1時間当たり作業能力 (ha/時間) ②	一日当たり作業可能時間 (時間/日) ③	1作期当たり作業可能日数 (日) ④	年間作業可能面積 (ha) ⑤=②×③×④	必要台数 (台) ①÷⑤	備考
					0	#DIV/0!	
②、③、④の算出根拠							
					0	#DIV/0!	
②、③、④の算出根拠							

2 導入機械等保管場所

農業機械等名	農業機械等の保管・設置場所	導入時期	備考
		年 月	

3 動産保険等の内容

--

4 農業機械のリース事業者等選定方法の計画

リース事業者等選定方法

(注) 一般競争入札、指名競争入札等、リース事業者の選定方法の計画を記載

5 リース料助成額

農業機械等名 (型式)					備考
リース期間	開始日～終了日 (※1)		～	(日)	
	リース借受日から〇年間 (※2)			(年)	
リース物件取得予定価格 (消費税抜き)	①			(円)	消費税: 円
リース期間終了後の残存価格 (消費税抜き)	②			(円)	
リース料助成申請額 (注2)	③			(円)	(リース諸費用内訳)
リース諸費用 (金利・保険料・消費税等)	④			(円)	保険料: 円 固定資産税: 円
機械利用者負担リース料 (税込み)	⑤			(円)	金利: 円 消費税: 円

- (注) 1 ※1及び※2については、いずれかを記入すること。
 2 リース料助成申請額③は、以下のA、Bいずれか小さい額を記入すること (千円未満は切り捨て)。
 A: (①×(リース期間/法定耐用年数))×1/2以内
 B: (①-②)×1/2以内
 3 複数の農業機械等をリースする場合は、欄を適宜追加して記載すること。
 4 機械納入業者の見積書の写し (2社以上) を添付すること。

第9 経費の配分及び負担区分

事業名	総事業費 (A+B+C) 円	負担区分			備考
		国庫補助金 (A) 円	事業実施主体 (B) 円	その他 (C) 円	
かんしょ重要病害虫対策事業					
合計					

(注) 「備考」の欄には、仕入れに係る消費税相当額について、これを減額した場合には「除税額〇〇〇円うち国費〇〇〇円」を、同税額がない場合には「該当なし」と、同税額が明らかでない場合には「含税額」と記入するとともに、「含税額」と記入した場合であって、同税額を減額したときは、備考の欄に合計額（「除税額〇円 うち国費〇円」）を記入すること。

第10 収支予算（又は精算）

(1) 収入の部

区分	本年度予算 円	前年度予算 円	比較		備考
			増 円	減 円	
国庫補助金 その他					
合計					

(2) 支出の部

区分	本年度予算 円	前年度予算 円	比較		備考
			増 円	減 円	
合計					

第11 添付書類（添付しない書類名は削除すること。）

- (1) 定款、寄附行為等主に営む事業内容が確認できる書類及び収支予算（又は収支決算）
- (2) その他九州農政局長が必要と認める資料

第12 受益農家一覧

1 被害が著しいほ場を対象とした取組

	受益 経営体	サツマイモ基腐病の被害がなかつた直近の年産			当年産					次年産				備考
		作付面積	総出荷量	10a当たり 収量 (A)	総作付 面積	被害が著しいほ場 (30%以上の減収)				取組面積				
						作付面積	出荷量	10a当たり 収量 (B)	減収率 <small>(1-(B÷A))×100</small>	土壤 消毒	被覆資 材導入	他作物 への転 換	輪作の 実証	
a	kg	kg/10a	a	a	kg	kg/10a	%	a	a	a	a			
1				#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!					
2				#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!					
3				#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!					
4				#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!					
5				#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!					
6				#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!					
7				#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!					
8				#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!					
9				#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!					
10				#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!					
合計		0	0		0	0	0			0	0	0	0	

(注) 1 「備考」の欄については、課税売上高が1千万円以上の者には○を記入すること。

2 農家数が10人を超える場合は、適宜欄を追加して記入すること。

2 機械の導入 (防除用機械の導入、輪作の実証の取組)

	導入機械名	型式・規格・能力	導入台数 (台)	受益経営体名	受益面積 (ha)	うちでん粉原料用かんしょ (ha)	オペレーター	備考
1								
2								
3								

(注) 1 「備考」の欄については、受益農家のうち課税売上高が1千万円以上の受益農家には○を記入すること。

2 様式が不足する場合は、適宜欄を追加して記入すること。

3 「オペレーター」欄は、オペレーターに○を付すこと。